



志高く!

教育目標
 「志高く 逞しく 切り拓く」
 生徒会スローガン
 「麻生中ABCD+」
 「考・動・皆・志」

◆麻生中学校だより◆
 Tel 80-8070
 Fax 77-0840
<http://www.sopia.or.jp/n-asojh/>
 行方市南327の3
 令和3年1月15日発行
 令和2年度 第23号

◆全校一斉道徳◆

中学校における「特別の教科 道徳」は、他の教科等に先んじて、平成31年4月から全面実施をしています。その目的は、「よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる」となっています。「特別の教科 道徳」で養うべき基本的資質は、様々な価値観に対して誠実にそれらの価値に向き合い、道徳としての問題を考え続ける姿勢をもつことにあります。そのために、生徒の発達の段階に応じ、答えが一つではない道徳的な課題を一人一人の生徒が自分自身の問題と捉え、向き合うことのできる学習活動を行うことが求められています。

本校では、先の趣旨に迫るための一方策として、「全校一斉道徳」を実施しています。木曜日の4校時に全学年・全クラスで道徳を実施し、担任だけではなく、学年のスタッフが交互に授業を行うようにしています。1月14日は、1年1組を大河寛士先生、1年2組を山本早苗先生、2年1組を土子拓郎先生、2年2組を田口秀治先生、2年3組を上田哲也先生、3年1組を関口喜昭先生、3年2組を山口宏子先生、3年3組を横田一樹先生が担当しました。評価に関しては、各学年で情報交換を行い、適切に対応しています。また、職員が相互授業参観を行い、授業改善に努めたり、生徒の様子を見取り情報交換をしたりしています。今後も、よりよい道徳の授業を実践できるよう、頑張っていきます。



◆行方市書き初め大会◆

1月9日(土)、麻生公民館において、「行方市書き初め大会」が、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、開催されました。本校からは、1年生男子2名が参加し、「天朗気清(天朗らかにして、気清し)」と書かれた手本をもとに、一生懸命、書き初めを行っていました。



厳寒時の実施と相成ったため、体育館は、冷えていましたが、返って凍とした空気が感じられ、新年に相応しい清々しい気持ちになることができました。

◆決意表明◆

1月14日(木)、2年生が、「総合的な学習の時間」に、新年に当たり決意を表明する活動を行いました。それぞれが、今年頑張っていきたいことや留意していきたいことに関連する漢字一文字を選び、その文字を色紙に記しました。

この活動は、将来の決意や目標などを、数え年15歳の春に明らかにすることで、大人になる自覚を深める「立志式」にちなんで行ったものです。間もなく、最高学年になる生徒の心身の健やかな成長を期待します。



校長のつぶやき 新年明けましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の猛威は衰えず、自粛要請が強まる中ですが、学校は予定通り再開し、校舎には元気な生徒の姿が戻ってきました。今年が丑年。丑年は「我慢(耐える)」や「発展の前振れ(芽が出る)」を表す年になると言われています。様々な面で我慢を強いられますが、ここを踏ん張って乗り切ることで、今年が素晴らしい年となることを祈念いたします。
 (文責：栗原秀雄)

